

一 音寺おんじは天使社の西に隣る、本尊十一面観音は長三尺七寸にて弘法大師の作なり。淳和帝御宇に天下大に疫す、此時天皇万民の為に伊勢春日両宮へ令幣使れいへいしを立られ、神託によつて和州長谷寺はせでらの観音をうつし、弘法大師に勅して造らしめ給ふ尊像なり。〔洛陽観音巡の第二十五番〕

疱瘡神〔文徳天皇御宇天安二年、星野藤太正利ほしのまさとしといふもの新羅国しんらこくへ渡海の時痘病に悩む、正利当寺の本尊を常に祈ければ応驗あつて、忽平癒し、安全に帰朝し侍る。諸人疱瘡安康のため其靈をこゝに祭る〕